

航空灯火設置工事の施工について

舗装工事の完了に伴い、事前に撤去していた航空灯火について、撤去前と同位置に再設置する必要があります。

(【埋込型】滑走路灯、滑走路中心線灯、誘導路中心線灯・【地上型】滑走路灯、誘導路灯)

○滑走路中心線灯 (埋込型灯器)



① コアカッターによる削孔(1)
(事前にテストボーリング実施)



② コアカッターによる削孔(2)



③ 削孔部の清掃状況及び使用材料



④ 灯火設置後の樹脂注入
(孔と灯器の隙間に注入)



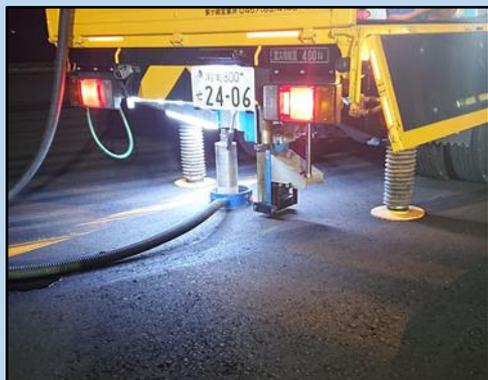
⑤ 灯器設置完了



※ 灯器の点灯状況

航空灯火設置工事の施工状況

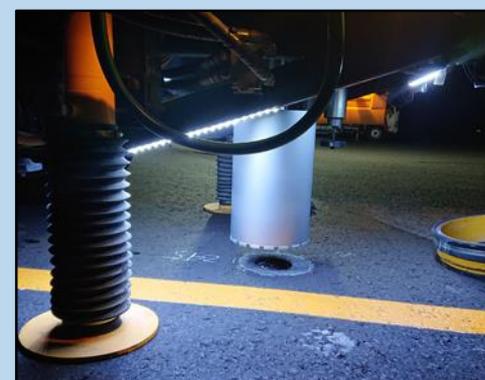
○誘導路中心線灯（埋込型灯火）



① テストボーリングの状況
（埋設部の中心位置を確認）



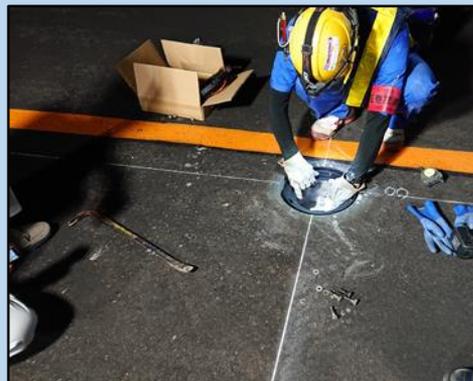
② 中心を確認し削孔位置を作図
（保護板の○部分が中心位置）



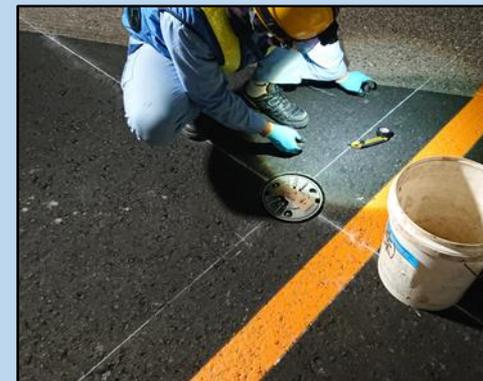
③ コアカッターによる削孔



④ 滑走路中心線灯の使用材料



⑤ 灯器設置状況



⑤ 灯器設置完了
（この後、樹脂注入作業）

※ 日々の施工数量について、灯火の種類（地上型または埋込型）にもよりますが、今回工事においては4～7灯/日となっています。